

あなたの声を“カタチ”にします！

勝山ひでお通信

Vol. **23**

ごあいさつ

皆様の力強いご支援をいただき、昨年10月より3期目をスタートさせることができました。心から感謝申し上げます。

昨年10月に発生した台風19号災害により、長野市は甚大な被害を受けました。被災された皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

災害発生直後よりONE NAGANO（ワン・ナガノ）を合言葉に復旧・復興に取り組んできました。昨年末、長野市は復興推進課を立ち上げ、「令和元年台風第19号災害 長野市 復旧・復興方針」を策定し、現在「長野市復興計画」の策定に取り組んでいます。

課題は山積しており、復旧・復興もまだ緒に就いたばかりですが、本年が復興元年となるよう、安心・安全の再生、生業の再生、賑わいの再生に全力で取り組んでまいる決意です。

今後とも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



災害対応 フォトリポート



公明党長野市議員団
市長に令和2年度予算要望



平木大作参議院議員と
千曲川決壊現場を視察



公明党山口代表と
被災者の激励



公明党山口代表と
災害現場の視察



佐々木文部科学大臣政務官と
長沼小学校を視察

発行： 勝山ひでお

TEL/FAX 026-219-2016



長野市下駒沢2253-1

E-mail: katsuyama@nkomei.com

12月議会の一般質問

令和元年12月議会の一般質問は、災害対応中の職員の負担を考慮し、内容は災害関係に限った質問のみ、各会派代表1名、質問時間も通常より削減し30分という災害対応で行いました。私も公明党を代表して一般質問をさせていただきました。主な質問項目は、台風第19号災害について（情報の伝達と行政の災害対応力について、避難所について、支援センターを核とした安心して暮らせるまちづくりについて、被災した学校・生徒・児童について、災害に強い都市基盤づくりについて、マイ・タイムラインの普及について、生業の再生・復興について）。具体的な質問と答弁を抜粋したものは以下の通りです。



情報の伝達と行政の災害の対応力について



勝山 大規模災害時は初動の1分1秒が命取りになる。ドローンを活用するなど、市民の皆様にも速やかに災害の状況を確認して伝達のできる体制をととえるべきでは？

危機管理防災監 情報収集のあり方について関係機関と協議しながら、ドローンの運用も検討する。

勝山 防災行政無線のデジタル化の効果と進捗状況は？

危機管理防災監 進捗は本年度から2カ年の工期で進めている。屋外スピーカーの新設や高性能スピーカーの交換、方向性調整により、音達の向上を図る。また、防災行政無線のアプリケーションを新たに構築し、スマートフォンへダウンロードすることにより、防災行政無線で放送された内容を音声と文字で認識できる。

マイ・タイムラインの普及について

勝山 この度の災害を教訓に、住民一人一人が自分に合った避難行動計画を立てるマイ・タイムラインを推進すべきでは？

危機管理防災監 市民一人ひとりの円滑な避難に役立つものとして有効と考える。普及できるよう進める



支援センターを核とした安心して暮らせるまちづくりについて



勝山 長野市において（仮称）被災者見守り支援センターの設置が予定されている。被災された方が地域で孤立することがない様、それぞれが暮らしている地域社会とのつながりを深めるために、どのような活動を予定されているのか？

保健福祉部長 建設型仮設住宅にはコミュニティづくりを目的に各種サロン活動実施の検討。仮設住宅、公営住宅、在宅で孤立する恐れがある方には被災地区とのつながりを失わないよう、巡回訪問などを通じて、被災地区に関する情報提供を行う。

スペースの関係上、すべての質問と答弁を通信に掲載することができませんでした。

勝山ひでおのホームページで全質問・答弁を動画で見ることができます。ご覧ください。

ホームページアドレス: <http://www.komei.or.jp/km/nagano-katsuyama-hideo/>